

令和2年5月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和2年5月21日（木）午後13時～午後13時35分

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、米澤新聞社、読売新聞、毎日新聞、河北新報、NHK

<市> 市長、秘書広報課長、担当者

4 記者倶楽部からの質問事項

- (1) 価格低迷が続く米沢牛の振興策について、具体案はまとまりましたか。
- (2) 国からの臨時交付金を使い、どのような施策を実現しますか。
- (3) その他

5 内 容

○秘書広報課長

これより令和2年度5月の定例記者会見を始めさせていただきます。初めに、市長から発言がございます。

○市長

5月の定例記者会見の内容につきましては二点ございました。それぞれの説明をさせていただきますと思います。まず第一点目の「価格低迷が続く米沢牛の振興策について、具体案はまとまりましたか」という事であります。確かにこの度のコロナウイルスによって自粛要請等があり、これは米沢牛だけではないのですが、和牛全体の消費が低迷をしてまいりました。米沢牛においても全くその通りでございました。自粛によって枝肉市場の価格が最大で5月の半ばの市場においては対前年で70%程度の取引価格であった訳であります。そういったことで、非常に市場における価格というものについては、お話にありましたように低迷が続いておりましたが、最近においてはようやく少しずつ回復をしているというのが現状であります。そういったことで一番ひどかった時期、3月中旬から4月にかけてでありましたが、枝肉市場への出荷頭数の調整をして参りました。そのことによって出荷をすべき牛の肥育日数が増えているというようなことがございましたので、はっきり言えば餌代とか労賃等がかかり増しをしたという事がございます。まずそういったものに対して何とか支援をしていきたいという事で、6月議会に向けて検討を進めているというような状況であります。あと、消費拡大をどのように図っていくかというようなことが重要でありましたので、

当面、例えば今テイクアウトキャンペーンをやっております。そういったことをポイントでやっている訳ですが、ポイント満了した場合には抽選で米沢牛の商品券という対応をしておりますし、また今日お渡しをしております、先日5月臨時会の中で支援策を色々とり組ませていただいた訳であります、その中に宿泊事業者緊急支援事業というものがあります。この事業に対しても、利用して頂いた方々に対して、これも抽選であります、米沢牛の商品券を抽選で贈呈するというようなことになっております。そういったことで少しでも消費喚起をしていくというようなことが価格低迷している米沢牛の価格安定に向けて取り組んでいかなければならないと思っております。

そして米沢牛消費拡大の一環としまして、まず市並びに議会の中で米沢牛の消費拡大に向けてキャンペーンを実施したところであります。1回、2回、3回を計画して、何とか米沢牛の消費拡大に向けて取り組んでいきたいと思っております。ただこういったものを今後米沢市全体の中でどう取り組んでいくかというのが一つの検討課題にはなっておりますが、いずれにしましても消費拡大に向けて取り組んでまいりたいと思っております。

あともう一つ消費拡大について、今まで小学校・中学校の学校給食の中で、米沢牛というものは大々的に給食に材料としては使ってはこなかったというように思っておりますが、今まで小学生・中学生にも学校休業という中で本当に大変な思いをさせましたので、完全給食が始まります6月1日を頭としまして、これも3回程度考えておりますが、米沢牛を使った学校給食を検討しているという事よりも、消費拡大に向けて作業を進めているというところであります。献立は牛丼になるというようなことですので、これを3回にわたって小中学校の給食に利用しながら消費拡大を図っていくという形で詰めているところであります。

なお、例年8月に行っている牛肉まつりですが、これは6月10日に牛肉まつりの議会がございまして、その段階で今年の開催をどうするかという事については検討をするというようなことになっているところであります。

そして、これは先ほど申し上げましたように和牛消費拡大というのは米沢牛だけではございませんでしたので、日本全体でも消費拡大に向けてというようなことの取り組み、あるいは国の支援について、私も国会議員の方に申し入れをさせていただいて来ました。そういった中で、国の対応としましては、肉用牛の肥育経営安定交付金制度、俗に「牛マルキン」と言っておりますが、このことにつきましても5月の14日に3月の販売分、これは販売価格と家族労働費を含む生産費の差額の9割を補填するという仕組みになっておりまして、全国の単価についてはそれぞれ違っておりますが、山形県の場合は、一頭あたりで12万3986円が国の方から交付されるというようなことになっております。そういったことも含めまして、今後とも国、県、市を含めて米沢牛の生産拡大、あるいは消費拡大に向けて取り組んで参りたいと、このように思っているところであります。

次に、二点目でありまして、国から地方創生臨時交付金を頂くことが確定している

訳であります。どのような施策を実施しますかという事の内容であります。米沢市は国や県の方針も含めて新型コロナウイルス感染症に関する緊急経済対策・生活基盤支援対策ということで支援の第1弾、第2弾、第3弾としての取り組み事業について回答させていただきましたが、こういったものの支援対策について、交付金を活用させていただきたいと思っております。これまでの緊急経済対策・生活基盤支援対策の第一弾として行った緊急事業継続給付金やテイクアウト店等情報発信及びスタンプカードの事業、また、第2弾として規制を自粛する県外在住の本市出身学生の生活支援事業や愛の商品券発行事業などに活用していくというのが主だった事業であります。

また、さらには第3弾としまして、消費喚起促進事業として、これは市民限定になりますが、「宿で癒されてキャンペーン事業」などにも活用していきたいと考えております。また、第四弾であります。6月補正予算に計上予定の事業もありますので、これは今精査をしているところであります。様々な市民の皆様からのご意見・要望がございますので、今後とも、どのような施策に臨時交付金を活用していくかを検討し、国へ提出する実施計画の取りまとめを行っていく。こういった予定をしているところであります。質問項目については以上になります。

○秘書広報課長

市長からの発言は以上になります。それでは幹事社の方にお渡しをいたしますので進行よろしくお願いいたします。

○幹事社

よろしく申し上げます。臨時交付金について米沢市はいくら受けることになっていきますか。

○市長

3億と少しだと把握しています。

○幹事社

これまで既にやっている事業に充てるという事が基本方針としてあるという事ですか。

○市長

基本方針としましては、どこの自治体もそうだと思うのですが、国からの臨時交付金を当てにしてそれぞれ独自の支援事業を検討してきたという経過がございますので、基本的には国の方でも支援対策に使用しても良いというような判断でありましたので、基本的には財源として非常にありがたいと思いながら、それだけで足りるものではございませんが、支援対策に充てていきたいと考えております。

○幹事社

分かりました。米沢牛についてですが、米沢牛を給食で使わなかったのは、高くてなかなか給食費の中で賄えないという事でしょうか。

○市長

今まではそうだったと私は思っています。

○幹事社

今度は米沢市が牛を購入して、ご父兄などの負担にならない形で提供するという事ですか。

○市長

はい。もちろんそうです。

○幹事社

わかりました。6月議会の第4弾で改めて米沢牛も出てくる予定という事ですか。

○市長

はい。冒頭申し上げましたように大分出荷統制をしていただきましたので、その支援については考えていかなければならないかなというところですよ。

○幹事社

米沢牛の消費について、県外から来るお客さんたちが旅館で食べたり米沢市内のお店で食べたりすることによる消費量はかなり多くて、そこが復活しないとなかなか難しいのかなとお伺いしたのですが、市長としてはその辺はどのようにお考えですか。

○市長

全くその通りだと思っております。旅館・飲食店の米沢牛を目的に米沢を訪れていただいている方も多し、温泉等の宿泊についても、夕食に米沢牛が出てくるものであろうと、あるいは別オーダーとしても頼まれているというところもあるようですので、やはり米沢牛を目的に外からお出でになっていただけるという事が米沢牛の振興については大きな強みであったものですから、それがなくなっているという事で非常に厳しい状況にあると我々は判断をしております。

○幹事社

なかなか感染防止の兼ね合いは難しいと思うのですが、外から人を呼び込むキャンペーンのようなものも今後必要になってくるかと思われませんが、それはいかがお考えですか。

○市長

今は自粛緩和という事で緊急事態宣言は解除された訳ですが、東北六県の知事会議の中では、県境をまたぐような整備は今しばらくという事で、これは観光業にとっても非常に厳しい状況が続くと判断をしております。今東北全体は感染者も出ていないので、しっかりと感染予防対策をとって、観光客にもまた来ていただいて、是非米沢牛を味わっていただけるように取り組んでいきたいと思っております。先日の5月の臨時会でもお話ししましたように、今は市内の皆様方に、温泉街の振興、旅館の振興もありますけれども、そういったことで温泉で癒されてくださいという事もお願いをしておりますので、そういったことも含めて、併せて米沢牛の振興に取り組んでいきたいと思っております。

○幹事社

思い切って米沢牛の商品券を一般の家庭に配布するような事業というのは市長の念頭にありますか。

○市長

これも考えてはいるのです。ただ、小売店とのかかわりも当然ありますので、その調整もしながら今後どうするのか検討していきたいと思います。

○記者

米沢牛のことについてお伺いしたいのですが、これまで出てきているもので言うと、どちらかという消費拡大、それによって取扱い店舗だったり生産者だったりについていい影響が行くような政策が主だと思うのですが、6月の第4弾で生産者に対する直接的な支援策という事は考えてらっしゃいますか。

○市長

例えば「一頭出したらこのくらい支援する」とかそういう意味ですか。

○記者

それも含めてです。

○市長

どういう支援のあり方という具体的なところが出てこないとなかなか答えづらい部分はあるのですが、先ほども申しあげましたように少しずつ市場の競り値段も回復してきているようです。そういった部分もありますので、そういった部分をしっかりと見ながら、今後何をしていかなくならないかということについては、直接生産農家さんにつきましては先ほど申しあげましたように国の方から「マルキン」がありますので、そういったことを含めて今後検討していきたいと思います。

○記者

米沢牛の完全給食については、3回とも牛丼でいいのでしょうか。

○市長

ご承知の通り、米沢牛は何で食べるのが一番おいしいかといえば「すき焼き」とか「ステーキ」もあるので、なかなか学校給食の中では取り入れにくいという部分がありますので、調理師さんたちも「米沢牛を手軽に食べられるのは牛丼かな」ということで、まず第1回目は牛丼でやりますが、第2回、3回目は牛丼というふうに決まったという話は聞いておりません。

○記者

とりあえず1回目は牛丼という事で。

○市長

はい。

○記者

日にちはどこまで決まっているのですか。

○市長

あくまでも予定ですが、2回目は9月ころになるというふうに計画をしております。決まったのは第1回目の6月1日、完全給食が始まるその日という事で、これは強く教育委員会の方に「始めさせてくれ」とお願いをしております。

○記者

1回目が6月1日、2回目が9月ころで、3回を考えていると。

○市長

はい。

○記者

臨時交付金にも絡む話で、今の時点だとなかなか見通しも難しいと思うのですが、今後財政的なところで、臨時的な出費がこれだけ増えた中で、現時点での見通しや考えられていることがあったら教えてください。

○市長

国の交付金のことですか。

○記者

交付金というよりは、米沢市の財政運営についてお願いします。

○市長

正直に言いまして、第3弾にわたって追加で議会の承認を頂きながら支援策を発表してまいりました。その中で、当然国から頂く3億円の中に収まるものではございません。そういったことから総額で水道の基本料金免除も含みますと、6億円ほどの支援策となっておりますので、財源は今のところ財政調整基金を取り崩してやっておりますけれども、それと同時に、やはりこの影響で令和2年度の諸事業が中止せざるを得ないという事にもなりますので、その辺につきましては6月議会で、減額補正ということも考えながら財源に充てていく、そういった取り組みも考えております。

○記者

そのあたりの予算の組み換えの話も出ていたとは思いますが、ある程度のところは6月定例会でまとまって示せるというようなことですか。

○市長

時期が過ぎたものもありまして、イベントとして行うことができないというものも当然ある訳でありますので、例えばオリンピックが延期になりました。ホストタウンとして聖火の事業もあったのでそれに対する経費もとっておりましたが、それも今年度はなくなりましたので、そういったものを併せて精査をしながら、どの程度の財源の組み換えをするかというところを今調整しているところであります。

○記者

6月の議案の記者会見の日程は決まっているのですか。

○市長

会見が6月9日になっておりますので、その一週間前には議会の方に提示をします。

○記者

では6月の初めに我々にも分かるという事でしょうか。

○市長

そうだと思います。

○記者

予算の組み換えについて確認ですが、今年度予算を全般的に見直すという事でしょうか。

○市長

全般的にというよりも、出来るもの出来ないもの、出来ないものはすでに期限が過ぎてしまっているものも当然あるわけでありまして、ただ今後いつまで大規模な集会とか50人以上の会議とかそういったものがダメだとなってくるか、今の段階で何をどう判断するかという事もありますので、その辺について今年度早めの対応もしなければなりませんので、一定程度は6月議会の中でお示しをすることができるというように考えております。

○幹事社

どうもありがとうございました。

○秘書広報課長

これをもちまして令和2年度5月定例記者会見を終了させていただきます。本日はありがとうございました。